

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	無題（数え歌）	2 pt	7 位	0 sp
		澄んだ子供の声が響いてきます。 悲しみへ行ってしまうのかと思いきや、転調してほんのり明るい未来へ。 しずかな滑り出しの今週の表紙でした。		
02	無人島への持ち物	3 pt	5 位	1 sp
		ゆっくりものを考えます。 無人島持ち物という古典的なテーマに自分なりの回答を出しつつ、サバイバルでもない、恋人でもないと否定を重ねていって「書くこと自体が目的なのだ」に行き着くまで。 考察がていねいだから、キーフレーズがずとんと腑に落ちました。 特別賞：俺なら美女を連れていく賞 by E女班 イチオシフレーズ：「この世界に私たちふたりだけ」×2 「想像してください」		
03	What do you feel?	10 pt	2 位	5 sp
		ワザありっ！ たしかに白紙は禁止だけど、これはアリだなあと。 読み手に行動させるという遊び心がすてきでした。銀メダル、そして特別賞の嵐。おめでとう!! 特別賞：山折り賞by CuSO4（無水和物）班/アンチ賞by Doらえもん班（白紙禁止をみごとに回避）/谷折り賞by ジョン・ケーG班/ 賞by h→0（微分）班/わくわくさんで賞by 虚数i班（紙を折るという新しい動きを導いた）		
04	『Bloody Chain』	0 pt	10 位	1 sp
		声変わり中の愛の詩人さんは、今週はハードボイルドでした。すべて無に帰してしまうせつなさはしっかり漂ってましたが、時間の前後関係がちと読みにくいか。 そしてどうやらお茶会にて、「愛の詩人」さんは「闇の商人」さんへとジョブチェンジなさったもよう。 特別賞：RPG賞byBOZU班（闇の商人（笑）） イチオシフレーズ：「おいボウズ、いい眼えしてんじゃねえか」		
05	いろいろなくしてみた	27 pt	1 位	1 sp
		ちょっとひとやすみ。大爆笑。 単語とツッコミとフォントが三位一体となって笑いのツボを攻撃してきます。 不思議の国のナイスな仕上がりでした。グッジョブ！ もってけ金メダル&イチオシフレーズ大賞!! 特別賞：かぶってる気がしたけど1・2位にしちゃった賞byAliceでは無いです班 イチオシフレーズ：「不思議の国のナイス」×2 「着信ナシ」「（本家が）」		
06	無期限	0 pt	10 位	1 sp
		留学生さん作品のお届けです。 人生の半分、というプロポーズ。それを盛り上げるための小さな工夫。意図は分かります。 だけどだけど、一週間会わなくて「なんかあったの？」と聞くくらいの反応しかない明日香さんに、このプロポーズは実るのかなあ？ しんぱい。 ラスト1行、韓国ではメジャーフレーズなんだそうで、ひとつ勉強になりました。 特別賞：苦笑（→賞）by FMラジオ班（笑うしかないでしょ） イチオシフレーズ：「俺の人生の半分になってくれないか？」		
		7 pt	3 位	0 sp

07	The Adventure of Aple	名前を付けて恋が始まる。古典的なお城ストーリーを、もう一枚外から暖炉の暖かみで包んで。 ちょっと構造が複雑かな、と思ったのですが、こまかに仕組まれた伏線を作作者さん解説でいただけたので腑に落ちました。銅メダルです、おめでとう！		
08	裸の王様	2 pt	7 位	0 sp
		たいへんなんだ、芸術家って。そのたいへんさが、うまく描き出されていました。 ストーリー展開はパターン通りなのだけれども、知らない世界をがんばって描ききったガッツに拍手。		
09	零	0 pt	10 位	0 sp
		論説で攻めたのは良いのですが、ならば論理性をもう少し強く出したかった。 ゼロの発見は仏教思想の「空」からだよ、って、だいじょうぶかな？ どうにもトンデモ説っぽく聞こえてしまうのですが。		
10	無題（世界が死んでから三度目の朝）	3 pt	5 位	0 sp
		ふっと世界から人が消えてしまう。三日目という設定にしたことで、当初の驚愕から少し立ち直って、ゆっくりと未来への模索を始めた気分が味わい深く読めました。 事態は深刻きわまりないのに、けっこう冷静な私が頼もしい。そして、変人博士に物語 恋の予感。		
11	「無・・・」	2 pt	7 位	1 sp
		たくさんコレクションしていただきました。 その敢闘精神に敬意を表して、がんばりましたよ、T A 陣も。「無印良品」自由が丘店から、「きなこもち入りとら焼き」30個ゲット!! 特別賞：かぶってる気がしたけど1・2位にしちゃった賞 by Aliceでは無いです班 イチオシフレーズ：「きなこもち入りとら焼き」		
12	イタリア旅行。とある博物館にて	4 pt	4 位	1 sp
		神意をどうとらえるか、含蓄深いストーリーでした。 寓話の提示にとどめず、いろんな解釈を加えてみせたところが独自性ですね。ちょっと冗長感が出てしまったけれど、その分、作者さんの人生観も伺えて、物語が終わったらさようなら、とは違った味がありました。 特別賞：キレイキレイ賞 by Ja無班（キレイにまとめてあって良し）		